

身体拘束最小化に関する院長表明・基本方針

身体拘束は、患者の生活の自由を制限するものであり、尊厳ある生活を阻んでしまうものです。当院では、患者の尊厳と主体性を尊重し、身体拘束を安易に正当化することはいたしません。患者に寄り添った医療・ケアを実施するため、以下の通り「身体拘束の最小化」に取り組んでおります。

1. 身体拘束の原則禁止

当院においては、「緊急やむを得ない場合」を除き、原則として身体拘束（抑制帯の使用、薬剤による行動制限、不必要な柵の設置等）は行いません。

2. 日常ケアにおける基本方針

医師をはじめ、看護師、介護スタッフ、薬剤師、リハビリスタッフなどの多職種が連携（チーム医療）し、患者の行動や背景を分析したうえで、患者のご意向に沿ったケアやサービスを提供します。こうしたチーム医療を通じて、身体拘束を行わなければならない必要性そのものを生じさせないことを目指します。

3. やむを得ず身体拘束を行う場合

患者の生命や身体を保護するための緊急の措置として、やむを得ず身体拘束をせざるを得ない場合は、必ずご本人やご家族に十分な説明を行い、同意をいただいた上でのみ実施いたします。また、実施中も十分な観察と継続的な評価・見直しを行い、早期に身体拘束を解除できるよう努めます。

4. 組織的な取り組み

当院では「身体拘束最小化チーム会」を設置し、定期的な事例の検討や評価を行うとともに、職員への教育・研修を継続的に実施しております。身体拘束に頼らない、患者の尊厳を守る医療・ケアの実現に向け、職員一丸となって取り組んでいます。

令和8年6月1日

愛染橋病院

院長 西村 匡司

身体拘束率(2025年度)

	身体拘束率(クリップセンサー含む)				身体拘束率(クリップセンサー以外)							クリップセンサー使用率			
	8F・9F・10F合計	8F	9F	10F	8F・9F・10F合計	8F	9F	10F	5F	NICU	GCU	8F・9F・10F合計	8F	9F	10F
2025年4月	21.1%	23.7%	25.1%	11.1%	1.6%	1.7%	1.4%	0.8%	1.2%	0.6%	0.0%	19.5%	22.0%	23.7%	10.3%
2025年5月	22.3%	18.4%	24.9%	22.5%	1.8%	0.0%	0.7%	4.9%	1.1%	0.0%	0.0%	20.4%	18.4%	24.2%	17.6%
2025年6月	16.1%	25.8%	13.0%	10.0%	3.6%	4.5%	0.5%	4.9%	3.0%	0.0%	0.0%	12.5%	21.3%	12.5%	5.1%
2025年7月	24.2%	40.0%	25.1%	10.3%	3.0%	1.8%	4.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	19.1%	29.1%	19.6%	7.8%
2025年8月	18.2%	26.9%	16.7%	9.6%	0.9%	0.0%	1.2%	0.8%	1.2%	0.0%	0.0%	17.4%	26.9%	15.5%	8.8%
2025年9月	11.4%	7.6%	15.8%	15.5%	1.0%	0.3%	0.0%	2.7%	0.4%	0.0%	0.0%	10.4%	7.3%	15.8%	12.9%
2025年10月	6.6%	9.2%	10.1%	4.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	0.0%	0.0%	6.1%	9.2%	10.1%	3.3%
2025年11月	8.9%	17.7%	1.3%	9.3%	0.9%	0.0%	0.0%	2.1%	1.5%	0.0%	0.0%	7.9%	17.7%	1.3%	7.2%
2025年12月	13.4%	16.1%	15.2%	8.4%	0.8%	1.0%	0.2%	1.5%	0.9%	0.0%	0.0%	12.6%	15.1%	15.0%	6.9%
2026年1月	23.6%	37.9%	20.6%	14.5%	3.9%	8.6%	0.3%	3.2%	2.9%	0.0%	0.0%	19.8%	29.3%	20.2%	11.3%
2026年2月	11.4%	6.6%	17.2%	8.7%	0.5%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	4.8%	17.2%	8.7%
2026年3月	4.4%	0.7%	6.4%	2.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%	0.0%	4.4%	0.7%	6.4%	2.9%
平均	15.1%	19.2%	16.0%	10.6%	1.6%	1.7%	0.7%	2.0%	1.7%	0.1%	0.0%	13.4%	16.8%	15.1%	8.6%